

様式2【後期】

令和8年度中堅教諭等資質向上研修【後期】教科指導研修シラバス

小学校 社会科 教科指導研修

※ 当センターでは、駐車スペースが限られること、また、周辺では交通渋滞が発生しやすいため、来所の際は、できる限り、公共交通機関を利用すること。

※ 愛知教育大学への交通手段については、後日送付する通知文を参照すること。

1 研修日程

(研修者：小学校36人)

期 日	時 間	研 修 内 容	会 場	
第1日 8月26日 (水)	9:00~ 9:30	受付<愛知教育大学 教育未来館講義室3C>	愛知教育大学 教育未来館 講義室3C	
	9:30~ 9:40	オリエンテーション		
	9:40~11:00	【講義：学習指導要領と社会科教育の在り方】 講師 大学講師		
午前11時まで 小中合同	11:00~12:00	【研究協議・演習：2学期実践授業の指導案検討①】 総合教育センター課長補佐 研究指導主事	教育未来館 多目的ホール 講義室3C	
午前11時から 前後期 小中合同	12:00~13:00	休憩		
	13:00~16:10	【研究協議・演習：2学期実践授業の指導案検討②】 講師 大学准教授 大学講師 総合教育センター課長補佐 研究指導主事	教育未来館 多目的ホール 講義室3C	
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡		
第2日 10月9日 (金)	9:00~ 9:30	受付<総合教育センター講堂前>	総合教育センター 講堂	
	9:30~ 9:40	オリエンテーション		
	午前 小中高合同	9:40~12:00	【講義：探究的な学びに向けたカリキュラム・授業づくり】 講師 大学教授	
		12:00~13:00	休憩	
		13:00~16:10	【研究協議・演習：カリキュラム・マネジメントと授業づくり】 総合教育センター研究指導主事	講義室B301
	16:10~16:30	教科指導研修の振り返り（振り返りシート記入） 諸連絡		

2 連絡事項（課題等）

<p>連絡事項 (課題等)</p>	<p>第1日</p>	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導学年の教科書及び指導書、資料集など ・ 以下のテーマ・単元で【前期】研修者が作成した課題に対して、【後期】研修者が助言する。参考になりそうな資料（過去の指導案や教材研究資料等）があれば持参して紹介してもよい（担当している学年のものだけでよい）。 <p>○ テーマ 「社会的な見方・考え方を意識した学習指導案」</p> <p>○ 単元</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小3：はたらく人とわたしたちの暮らし 「店ではたらく人」＜東書＞ わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと 「店ではたらく人びとの仕事」＜日文＞ ◇小4：自然災害から暮らしを守る＜東書＞ 自然災害から人々を守る活動＜日文＞ ◇小5：わたしたちの生活と工業生産 「これからの工業生産とわたしたち」＜東書＞ 工業生産とわたしたちの暮らし 「これからの工業生産」＜日文＞ ◇小6：日本の歴史 「戦国の世から天下統一へ」＜東書＞ 日本のあゆみ 「戦国の世の統一」＜日文＞ <p>【課題及び提出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし
	<p>第2日</p>	<p>【持ち物について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導学年の教科書及び指導書、資料集など ・ 課題10部（事前提出なし） <p>【課題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出課題 「カリキュラム・マネジメントを踏まえた単元構想の創造」 ・ 課題様式 「3 課題様式（記入例）」参照

3 課題様式（記入例）

令和8年度中堅教諭等資質向上研修【後期】▽教科指導研修▽小学校社会科

単元で重点的に育成を目指す資質・能力 ※複数可
 (例)
協働的問題解決能力 思考力 社会参画力 表現力
分析力 コミュニケーション力 資料活用力 など

※受講者名簿に記載した学年の内容で作成する。授業実践の有無は問わないため、仮想でも可。
 ※特別支援学級を担当している場合は、在籍児童のいる学年の中から選択して作成する。

所属校		受講番号	
テーマ	カリキュラム・マネジメントを踏まえた単元構想の創造		

1 ▽単元名 ○○○○○○○○○○○○○○
 2 ▽構想
 ▽(1) ▽「単元で重点的に育成を目指す資質・能力」「授業デザインの視点」
 ・「○○○○」 ・「△△△△△△」
 ▽(2) ▽単元の目標
 ・○○○○○○○○○○○○○○○ (知識及び技能)
 ・○○○○○○○○○○○○○○○ (思考力、判断力、表現力等)
 ・○○○○○○○○○○○○○○○ (学びに向かう力、人間性等)
 ▽(3) ▽計画 (全○時間完了)
 (例)

章立ては、自由。
 必要に応じて変更してよい。

授業デザインの視点
 ※複数可
 ①教科横断
 ②地域（人材・素材）活用
 ③主権者教育
 ④消費者教育
 ⑤防災
 ⑥環境教育
 ⑦博物館・美術館等連携
 ⑧外部機関との連携
 ⑨福祉
 ⑩視聴覚教材・機器活用
 ⑪体験・調査活動

時	学習活動	教師支援
1	○日本の自動車の現状について考える。 ・ハイブリッド車 ・電気自動車 ・日本の生産台数は世界3位 ・日本の自動車生産額は愛知県が最も多い。 ・愛知県には自動車関連の工場が多い。	○日本の自動車の歴史を知るために、昔と今の自動車の写真資料⑩を提示する。 ○世界の国と比較できるように、自動車の国別生産台数の変化のグラフを活用する。 ○日本の輸送用機械の生産額の割合グラフをタブレット端末⑩を使って考察する。
2～4	○自動車がどのようにつくられているのか考え、自動車工場の見学計画を立てる。 ・自動車の生産工程について調べる。 ・組み立て工場や関連工場の関係について調べる。 ・工場間の連携や消費者に届く過程をまとめる。	○組み立て工場や関連工場の関わりを知るために、東日本大震災による生産や物流への影響についての新聞記事⑩を活用する。 ○ <u>見学⑩</u> の視点をはっきりさせるために、調べたいことや自分の予想、質問したいことなどを、前もって見学カードに書かせる。
5～7	○自動車工場を見学し、学んだことを発表する。	○効率のよい製造工程や働く人の工夫や努力、開発・研究に着目させる問いかけをする。
8	○これからの時代に必要な自動車を考え、まとめる。 ・燃料電池自動車 ・電気自動車 ・自動運転ができる自動車 ・安全性の高い自動車 ・福祉車両	○「見方」「考え方」を働かせるために、「環境問題」⑥「福祉」⑨「SDGs」などの視点を示し、視点によって求められる自動車に変化があることに気付けるようにする。

「授業デザインの視点」に関わる部分に下線を引く。

3 ▽評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・○○○○○○○○○○○○○○○	・○○○○○○○○○○○○○○○	・○○○○○○○○○○○○○○○

(注)・受講番号については、実施要項添付の名簿を参照する。
 ・A4判縦長横書き。枚数は1枚（2ページになる時は両面印刷とする）。
 ・字の大きさは、10.5ポイント。
 ・文字数は、1行35から45文字程度、1ページ30から40行程度。
 ・個人情報の取り扱いに十分留意し、特に児童の個人名及び男女の区別は記載しない。

4 問い合わせ先

担当 総務企画課企画情報推進室（櫻井）
 電話 0564-83-9135（ダイヤルイン）